

Nagoya Noh Theater
January 2018

平成30年

1月3日(水)

13:00開演(12:30開場)

※能「翁」開演後30分間は入退場できませんのでご注意ください。

前売券発売11月2日(木)

名古屋能楽堂 正月特別公演

能	狂言	能
<p>シテ 清沢 一政</p> <p>「羽衣」(観世流) はごろも 和合之舞</p>	<p>シテ 奥津健太郎</p> <p>「寝音曲」(和泉流) ねおんぎよく</p>	<p>シテ 久田 勘鷗</p> <p>千歳 伊藤 裕貴</p> <p>三番叟 藤波 徹</p> <p>「翁」(観世流) おきな</p>

名古屋能楽堂 開館20周年記念

【能楽師が20周年におくる能・狂言20番】

二十年経ったとは思えない。(名古屋能楽堂が開館したのは)まだこの間みたいな気がする。幼稚園の頃から子方として舞台に立っている。戦後初めて見せてもらった能は、名人の橋岡久太郎師の舞台。中学一年生の時だった。中区の昔の商工会議所でも、それから松坂屋の一番上の七階の劇場でも能を見せていただいた。高等学校二年生の時、我が家は経済的に厳しい状況だったが、父がまた能をはじめた。ぼくの大鼓の師匠は西尾孫太郎という方で、その西尾師から流儀(石井流)の本拠地である京都へ行くよう言われて、谷口喜代三師に師事した。京都の大鼓は、言葉と同じで少しやわらかい。谷口喜代三師のおかげで今、大鼓を打っている。【河村総一郎 石井流大鼓方】



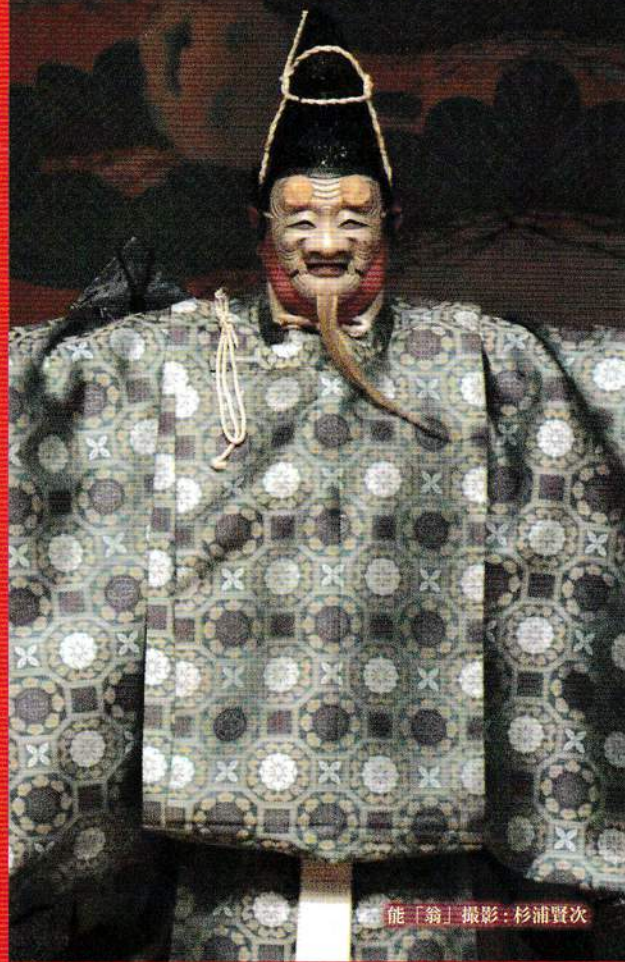
新作能面を披露します

福井県池田町の「第15回 全国新作能面公募展」において、秀作の能面「白式尉」(作者:糸井久明さん/福井県)を本公演の能「翁」のシテで使用します。

ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から抽選で10名様に能楽グッズをプレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券[ご応募の締切は休憩終了まで]が入っておりますのでご確認ください。



能「翁」撮影:杉浦賢次



能「羽衣」撮影:杉浦賢次

主催



名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



※能「翁」開演30分間は入退場できませんので、ご注意ください。

能 翁(観世流)

翁 久田 勘鷗
千歳 伊藤 裕貴
三番叟 藤波 徹
面箱持 伊藤 泰

笛 竹市 学
脇鼓 清水 皓祐
小鼓頭取 久田舜一郎
脇鼓 荒木 建作
大鼓 打掛り 河村眞之介

後見 八神 孝充
祖父江修一

狂言後見 井上松次郎
野村又三郎

吉沢 旭 山中 雅志
本田 勲 清沢 一政
松山 幸親 久保信一朗

狂言 寝音曲(和泉流)

シテ 太郎冠者 奥津健太郎
アド 主 松田 高義

後見 伴野 俊彦

休憩十五分

能 羽衣和合之舞(観世流)

シテ 天人 清沢 一政
ワキ 漁師伯龍 高安 勝久
ワキツレ 漁師 橋本 幸
ワキツレ 漁師 相元 正樹

笛 大野 誠
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村総一郎
太鼓 鬼頭 義命

後見 山中 雅志
久保信一朗

角田 尚香 久田三津子
村井 邦子 前野 郁子
瀬戸 洋子 近藤 幸江
星野 路子 今澤 美和

【イヤホンガイド】
能「翁」
日本語/飯塚恵理人
(稲山女子学園大学)

英語/藤江さおり(通訳ガイド)
文化情報学部教授

◆能「羽衣」

日本語/伊藤利香
(名古屋能楽堂イヤホンガイド)
英語/藤江さおり(通訳ガイド)

都合により出演者等が変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

◆能解説「翁」(おきな)

新春。切火で清められた舞台上、深斎をすませた演者が、面箱・翁千歳・三番叟...と続いた芸員が登場する。

「切火」とは、この場合、幕際から火打石で火を飛ばすこと。後見の役割、清新の気が漂う。

翁は狩衣、指貫、面箱、千歳・三番叟は侍烏帽子に直垂。囃子地謡などは侍烏帽子に素襦を着る。

「翁」の舞は三部から成り立っており、最初の千歳は囃子は浦の水...と謡い出し、若々しく調笑した舞。次に翁の面を舞台上でつけたシテは祈禱的な意味合いを持つ「重なる舞」を舞う。その中で角・脇座前・中央で三回ずつ拍子踏を踏む。これを「天地」人の拍子と称する。翁と千歳の退場のおく、三番叟の賑やかな舞となる。はじめの部分を「榊之段」、黒式討の面をつけ、鈴を持った後半部の舞を「鈴之段」と称する。

天下泰平、国土安穩を祈る儀式能。

新年の翁。それはさわやかな日本の新春。 (泉 嘉志)

「大鼓」について、御前形に準じた大鼓者が観客に近づくのを「せりぞ」で出さず、おぼろげに響かすので、そこから始まった。江戸流大鼓の特別演出。

◆狂言解説「寝音曲」(ねおんぎょく)

前夜酔い粉れに小唄を謡っていた召使い(太郎冠者)。それを偶々聞きつけた主人は、自分の前で謡ってみたいと所望します。太郎冠者は今後度々謡わされるは迷惑と考へ、「酒を呑まねば謡えない」「女の膝枕がないと謡えない」などと、次々に条件を付けては断ろうと応じますが...

主人と太郎冠者の駆け引きが見どころです。流派によって起用される謡は様々ですが、主人の膝を女性性と思つて横になり、機嫌良く謡う様などは、演者の技量が試される聞きどころともなっています。 (井上 菊次郎)

◆能解説「羽衣」和合之舞(はごろうも)

春の三保の松原で、漁師の伯龍が松にかかる衣を見つけ、持ち帰ろうとする。それは天人の羽衣であつた。羽衣がなくて天上に帰ることができないと悲しむ天人に、伯龍はやさしく羽衣をかえす。天人は感謝の舞を舞いながら、愛鷹山や富士のたかねの彼方の空へと霧にまぎれて消え失せていった。

演出上の小書(こがき)「和合之舞」は基本演出に対して以下のような変化をする。先づ、基本演出ではこの能の中心部「クセ」↓「序之舞」↓「或いは天つ御空の緑の衣」又は春立つ終曲の衣...のこの節...と破之舞↓キリ、夷遊の舞の数々に...となつて終曲を迎える。

「破之舞」の場合は「クセ」↓「序之舞」↓「初段」↓「二段」↓「三段」の三段目が「破之舞」と合体して「キリ」東遊の舞の数々に...と結びついて、即ち、序之舞、三段目が「破之舞」となる。或いは天つ御空の...の節が省かれて終曲へと運ばれてゆく。そのうえ「クセ」に通常演出とは異なる型が組み込まれ、キリは地謡囃子に緩急がつき、霞にまぎれて失せにけりシテは舞へ入り、「ワキ留め」となる。

序之舞は幽艶な、かつ物のシテが舞つ舞で、静謐にして重厚である。そのため、さぞかし軽やかな舞がはじまることを期待しているかたかたとしては、まさに意表を突いた展開となる。その重みに耐えているうちに、次第に舞台は華やかさを加えて、質の高い象徴性、武家的な線の太さを根底に保持しながら、この能は「ファイナル」を迎えることとなる。

正月特別公演事前学習講座
12月16日(土) 14:00~16:00

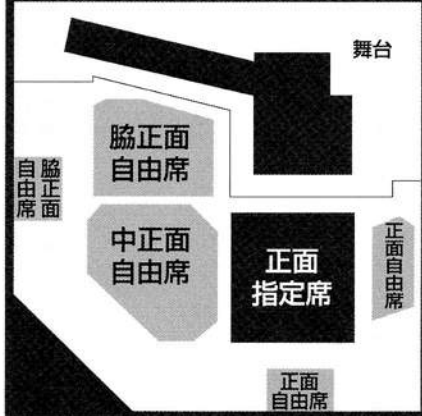
[受講チケット] 正月特別公演とのセット券600円、一般券1,000円 ほか
◆能「翁」「羽衣」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金(税込み) *前売券発売日 平成29年11月2日(木)

Table with ticket prices: 前売 Advance sale, 指定 Reserved, 自由 Non reserved plus ¥500, 一般 Adult, 学生 Student under 25 years old.

- *当日券は自由席のみ500円増となります。
*事業団友の会会員(前売のみ)、障がい者手帳等をお持ちの方(付添1名含む)、事前学習講座とのセット券同時購入は1割引。
*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外のご遠慮下さい。*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office
名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088
名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387
中京テレビ事業/TEL.052-588-4477
栄プレケ92/TEL.052-953-0777
チケットぴあ/TEL.0570-02-9999
*お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。
*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引致します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)
To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)
◆イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語) Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset (Japanese/English)



ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい
「友の会」会員募集中!
公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385